

京都市子育て支援総合センター こどもみらい館だより



京都市子育て支援総合センター
こどもみらい館シンボルマーク

みらい

京都市子育て支援総合センター
こどもみらい館のオープンは
12月23日(祝)に
決定!!

京都市幼児教育センター・統合幼稚園開設準備室
(京都市子育て支援総合センターこどもみらい館)

〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下る骨屋之町549
TEL 075-212-9901 FAX 075-212-9909
URL <http://www.city.kyoto.jp/kyoiku/youkyo>

秋号

平成11年11月



京都市子育て支援総合センター

- こどもみらい館12月23日(祝)にオープン
- こどもみらい館の研修室の貸出受付を開始
- こどもみらい館のシンボルマーク決定!
- 子育て支援ボランティア講習会・
電話相談ボランティア養成講座が開講
- エッセンス
- 企画・運営委員会が発足
- 編集後記

京都市子育て支援総合センター こどもみらい館

12月23日

「京都市子育て支援総合センターこどもみらい館」の建設工事が順調に進み、予定よりも早く竣工することになりました。それに合わせて、来年1月に予定しておりました開館日を本年12月23日(祝)と決定しました。

オープン後、年内いっぱい、子育てに関する記念講演や親子で楽しむことのできる数々の記念事業を行いますので、12月23日(祝)の「こどもみらい館」のオープンを楽しみにしててください。



シートが取り外されたこどもみらい館の外観

一日も早い開館を待ち望まれていた「こどもみらい館」がいよいよ12月23日(祝)に開館できることになりました。

開館に向けて、「こどもみらい館」が市民の方々の育児に関する悩みや不安を和らげ、子育ての喜びや楽しみを共感できる施設として活用していただけるよう、保育・幼児教育関係団体・機関の方々やボランティアの方々と共に各種事業の準備に努めてまいります。



京都市長 榎本 頼兼

京都市子育て支援総合センター こどもみらい館

- ・京都市中京区岡之町通竹屋町下る梅町601番地の1 (元 竹筒小学校跡地)
- ・敷地面積/約2,800㎡
- ・延床面積/約4,700㎡
- ・建築規模/鉄筋コンクリート造 地下1階地上4階建て
- ・施設内容/こども元気ランド、子育てに関する相談室 保育、幼児教育の研究室、研修室 子育て図書館など

こどもみらい館の研修室の貸出受付を開始

10月1日より、平成12年1月5日～3月31日までの間の研修室、会議室の貸出受付を開始しました。子育て支援に資する事業や保育・幼児教育に関する研修等にご利用ください。

施設使用料

施設名	定員 (椅子のみの場合)	使用料			
		午前 9時～12時	午後 13時～17時	夜間 18時～21時	
第1研修室 (4F)	全室	81 (192)人	12,000円	14,000円	16,000円
	A	27 (64)	6,000	7,000	8,000
	B	30 (60)	6,000	7,000	8,000
第2研修室 (4F)	全室	48 (99)	7,000	8,000	9,000
	A	24 (45)	3,500	4,000	4,500
	B	18 (36)	3,500	4,000	4,500
会議室 (4F)	全室	18	4,000	5,000	6,000
	A	12	2,000	2,500	3,000
	B	12	2,000	2,500	3,000
第3研修室(2F和室)		18 (30)	2,000	2,500	3,000

*使用料を減免できる場合がありますのでご相談ください。

受付場所

幼児教育センター・
統合幼稚園開設準備室
(中・富小路通六角下る 元 生祥小学校内2階)
☎212-9901

※12月1日(水)以降の受付は「子育て支援総合センターこどもみらい館」で行います。

受付時間

午前10時から午後5時まで
(土曜日・日祝日を除く)

3日(祝)にオープン!!

こどもみらい館のシンボルマーク決定!!



利根敬郎さんによる最優秀作品

「みらいのMをモチーフに子育ての愛(ハート)を囲む大人と子どもを表現しました。」

7月に「京都市子育て支援総合センターこどもみらい館」のシンボルマークを募集いたしましたところ、市民の皆さんをはじめ全国の方々から、518件もの力のこもった作品が寄せられました。

審査の結果、大阪府四條畷市の利根敬郎さんによる作品が子育てを温かく支援するこどもみらい館にふさわしく、シンプルで親しみやすいことから最優秀作品に選ばれ、こどもみらい館のシンボルマークとして使用することに決定しました。

なお、佳作の方々は次のとおりです。

岩根 享子さん(北区)	高橋 勉さん(埼玉県)
梅里久美子さん(愛知県)	中村真由美さん(左京区)
惠濃 泰久さん(熊本県)	菱木 明香さん(北区)
鬼丸 邦宏さん(福岡県)	松岡 英男さん(山形県)
河原崎 都さん(上京区)	宮田 薪さん(伏見区)

※シンボルマークの選定には、加茂直樹京都教育大学名誉教授、棕田知雄京都市保育園連盟理事長、福田義明京都市私立幼稚園協会会長、田坪良次京都市芸術大学教授にご参加いただきました。

子育て支援ボランティア講習会・電話相談ボランティア養成講座が開講

市民とのパートナーシップによる事業展開を図っていく「こどもみらい館」。

この「こどもみらい館」で読み聞かせや遊びの指導など幅広い事業に参画いただく「子育て支援ボランティア」の募集を7月に行いましたところ、募集定員の3倍を超える350名のご応募をいただき、9月から10月にかけて講習会が行われました。

また、「子育て支援ボランティア」と同時に募集しました「電話相談ボランティア養成講座」も始まりました。現在、電話による子育てに関するさまざまな相談に対応するため専門知識について熱心に学ばれています。



子育て支援ボランティア講習会開講式の様子

エッセンス 第5回

— 絵本は子どもの安心毛布 —

「この本、読んで!」

「ぼくのほうがさきやで」

子どもは、絵本を読んでもらうことが大好きです。大人の膝に寄り添う子ども達の心に、温かい声がこちよくひびき、美しい絵と結びついて、子ども達はまたたく間に絵本の世界へ引き込まれていきます。絵本は、楽しい空想の世界へいざなうすばらしい芸術です。

お気に入りの本は、「もう一回」「もう一回」と、何度も読んでほしいとねだります。そのたびに思いをふくらませながら、まるで絵本の安心毛布に包まれることを楽しんでいるようです。「一個のリンゴの中にある種子の数はだれにでも数えられるが、一粒の種子の中にあるリンゴの数は神しか数えられない」という諺があります。読み聞かせによって広がる心の世界は、だれにも押し量ることはできません。

あるお父さんは、

「息子と肩を並べて一緒に本を読むようになるまで、私は世の中に人をげらげら笑わせたり、泣かせたり、心を揺さぶったりする本があることを全く知りませんでした」と語っています。

大人も子どもに負けないくらい恩恵を受けることが多いのも、読み聞かせのすばらしさです。

静かな秋の夜、お父さんもお母さんも、おじいさんもおばあさんも、子ども達と一緒に本の世界をお楽しみください。その夜は、きっと一日の中で最もすてきな時間になることでしょう。



「企画・運営委員会」が発足

8月9日、京都市保育園連盟、京都市私立幼稚園協会をはじめ、公私立の保育・幼児教育関係者、学識経験者、行政関係者による、こどもみらい館の事業について検討・協議を行う共同機構の組織「企画・運営委員会」の初会合が行われました。「企画・運営委員会」は10月20日にも行われ、開館にあたり取り組むべき課題について、熱心な議論が展開されました。

★企画・運営委員会 委員（敬称略）

座長 名倉啓太郎（大阪神道女子大学学長）

小野かおり（京都市私立幼稚園PTA連合会会長）

河田 邦子（京都市保育士会会長）

川名 マミ（京都市私立幼稚園協会幹事）

久保 恒男（（財）京都市生涯学習振興財団事務局長）

苗村 隆昭（（社）京都市保育園連盟副理事長）

日野 昭文（京都市私立幼稚園協会副会長）

山手 重信（京都市日本保育協会副会長）

〈50音順〉

堀岡 博（京都市保健福祉局福祉部長）

梶村 健二（京都市教育委員会指導部担当部長）

竹中 祐子（京都市児童福祉センター院長）

宮本 修（京都市立永松記念教育センター相談課長）

中村 榮（京都市保健福祉局福祉部保育課保育担当課長）

田井三智子（京都市教育委員会指導部学校指導課首席指導主事）



編集後記

いっそう秋らしくなり、スポーツや芸術にと毎日楽しくお過ごしのことと思います。

「こどもみらい館」も建物をおおっていたシートが取り外され、外の通りからも温かいピンク色の外観が見えるようになっていきます。

昨年6月の着工以来、無事故で当初予定よりも早く竣工することができ、工事関係者のご尽力と地域の方々の温かいご支援、ご協力に心からお礼を申し上げます。

7月に募集いたしました「シンボルマーク」、「子育て支援ボランティア」、「電話相談ボランティア養成講座受講者」にはたくさんの応募

をいただきありがとうございました。「こどもみらい館」への関心の高さと市民の方々の熱意あふれるボランティア精神にスタッフ一同、喜びの声を上げています。

10月から研修室など「こどもみらい館」の施設の貸出予約の受付を開始しました。

子ども達の声が「こどもみらい館」から聞こえてくるのも、もうすぐそこまできています。

これからもスタッフ一同、心をひとつにし、皆さんに愛される「こどもみらい館」を目指して頑張ります。どうぞよろしくをお願いします。

ひと・まち・ロマン  元気都市・京都

人権の 話題作りは 家庭から

この冊子は再生紙を使用しています。